

2011年9月19日

## Press Release

### 非接触式光学式ツールプリセッタNOTP型がレーン賞を受賞

エヌティーツールは2008年より、ドイツの技術移転機関 シュタインバイス財団<sup>(1)</sup>傘下のSTCイルメナウ<sup>(2)</sup>を仲立ちに、イルメナウ工科大学<sup>(3)</sup>と非接触式光学式ツールプリセッタNOTP型<sup>(4)</sup>の共同開発を進めてまいりました。

本共同開発プロジェクトにおいては、エンジニア同士の交流に留まらず、イルメナウ工科大学の学生をインターンシップ生として受け入れる活動も行っております。2009年以降通算5人の学生の受け入れを実施し、それぞれ約3ヶ月間弊社開発部門にて実務を経験して頂きました。

このような連携体制や、開発製品の性能および将来性が高く評価され、この度、本プロジェクトはシュタインバイス財団が特に優れた産学協同プロジェクトに贈るレーン賞<sup>(5)</sup>を受賞することとなりました。授賞式は2011年9月30日にドイツのシュツットガルトにて執り行われる予定です。

#### (1)シュタインバイス財団

本部：ドイツ バーデン・ビュルテンベルク州 シュツットガルト

<歴史>

1971年、バーデン・ビュルテンベルク州が大学や公的研究機関の科学的知見を民間企業に移転する目的で設立。その後、1982年の組織改革で、国際的技術移転・支援機関となる。1998年、収益事業全部門がシュタインバイス技術移転会社として独立。

<業務内容>

企業の経営・技術・ナレッジ分野でコンサルティング及び開発業務を有償（2010年売上高：1.24億ユーロ）で受託する欧州最大規模の産学協同事業体。STCと呼ばれるナレッジ移転センターを世界36カ国に約770拠点設置、約800名の大学教授と5,400人以上の専門家が在籍している。STCは大学に併設されることが多く、その殆どで大学教授がセンター長を兼任している。

日本にも1999年にシュタインバイスジャパンが設立され、東海大学や九州大学と連携している。

シュタインバイス ジャパン ホームページ：<http://www.steinbeis.co.jp/jp/index.html>

シュタインバイス財団ホームページ：<http://www.stw.de/en/>

#### (2) STC イルメナウ（ドイツ テューリンゲン州 イルメナウ）

シュタインバイス財団に属するナレッジ移転センターの一つ。イルメナウ工科大学に併設されており、画像処理やクオリティーコントロールを専門とする。

ホームページ：<http://www.stz-ilmenau.de/index-en.php>

#### (3)イルメナウ工科大学（ドイツ テューリンゲン州 イルメナウ）

1894年設立、学生数約7,200人の公立大学。

ホームページ：<http://www.tu-ilmenau.de/>

#### (4)非接触式光学式ツールプリセッタ NOTP 型

「お客様の使い勝手を一番に」をモットーに開発した新型非接触式光学式ツールプリセッタ。2012年初旬に販売開始予定。

#### (5)レーン賞 Löhn Award

シュタインバイス財団が、財団に属するナレッジ移転機関と民間企業の産学連携プロジェクトの中でも特に優れたものに対して授与している賞。2011年は50件の応募があり、うちNOTPプロジェクトを含む3件が受賞することとなった。2011年9月30日にシュツットガルトにて授賞式が行われる。

### 写真

	
NOTP 外観写真	インターンシップ生（本社工場にて）

エヌティーツールは今後もお客様のお役に立てるよう、新製品の開発に取り組んで参ります。

以上